



管内に自生していたケシ

アツミゲシ（セティゲルム種）の特徴

- ① 花びらは4枚で薄紫色。
(先端は白に近い色)
- ② 開花期の草丈は50〜100センチ。
- ③ 葉・茎・つぼみなどは緑色で、
土壌が良いと枝分かれする。
- ④ つぼみの周辺に毛がある。
- ⑤ 葉は付け根で茎を
巻き込むようにつく。
- ⑥ つぼみは開花時に上を向き、
散っても上を向いたまま。
- ⑦ 繁殖力が強く、果実には微細な
種子が詰まっている。



⑤葉



①花びら



⑦果実



②つぼみ

植えてはいけないケシをご存知ですか

園芸用のケシの仲間、ポピーなどは、3月下旬から5月にかけて、色鮮やかで美しい花を咲かせるものが多く、ガーデニングや切り花用の植物として人気があります。

ケシの仲間には法律で栽培が禁止されている「不正ケシ」があります。これらは外観の

特徴から、園芸用のケシと区

別できます。出水保健所管内

には、不正ケシが多数自生し

ており、その多くはアツミゲ

シ（セティゲルム種）です。

令和4年度の出水保健所管内

の除去本数は2461本と県

内の総除去本数の73・5割を

占めています。

植えてはいけないケシの特

徴を知っていただき、似た植

物を見かけたときは、そのま

ま抜かずに出水保健所まで連

絡ください。

問い合わせ先

出水保健所衛生係

☎ (62) 1636

県内の不正ケシ除去本数の推移と出水保健所管内の占める割合

